

インド舞踊へのいざない

インド北東部マニプル州より来日!

マニプリ古典舞踊団と日本で活躍する南インド古典舞踊団によるインド舞踊の祭典

カンゲンバム・ユニ博士舞踊団



アマリッタ・ダンス・カンパニー

2024年4月16日(火)

18:30開演 20:30頃 終演予定 (18:00開場 休憩あり)

鳥取県立生涯学習センター

(県民ふれあい会館) JR鳥取駅 南口より徒歩3分

主催: 在大阪・神戸インド総領事館 共催: 鳥取県

入場無料

申し込み方法→
とっとり電子申請サービス



インド舞踊へのいざない

インドはその多様な民族と文化の土壌に花開いた豊かな舞踊文化を誇ります。現在、伝統舞踊の系統は、古典(クラシカル)と民族(フォーク)に分類されます。今回は古典舞踊から北東部のマニプリ舞踊と南部のバラタナティヤム舞踊をご覧ください。



マニプリ舞踊

インド北東部マニプル州の州都インパールは、第2次世界大戦の記憶とともに日本人にとって耳なじみのある地名でしょう。マニプリ舞踊は、インドの芸能のなかでも特に繊細で独特の魅力を湛えるもので、外的な影響をあまり受けることなく古えの伝統を現在に伝えています。叙情的、優雅な動きとともに精巧な衣装が特徴です。

バラタナティヤム舞踊

南インド・タミルナードゥ州を中心に、ヒンドゥー教の寺院の巫女が神々に捧げていた舞踊から発展したインド最古の古典舞踊といわれています。足で大地を踏み鳴らすダイナミックで力強いステップで複雑なリズムを奏で、身体全体を使った直線的かつ優美な動きを駆使して、インド神話や物語の登場人物の心の機微を豊かに表現します。

出演者プロフィール



カンゲンバム・コニ博士舞踊団(東インド古典舞踊マニプリ)

カンゲンバム・コニ博士はインド政府文化省のSangeet Natak Yuva Puraskar賞やマニプル州政府Kala賞など受賞した著名なマニプリ古典舞踊の指導者です。また、インド文化関係評議会(ICCR)認定アーティスト、インド国営テレビ局ドゥールダルジャンのA級アーティストであり、マニプル州州都インパールのジャワー・ハルラル・マニプリ舞踊アカデミーのマニプリ舞踊金賞受賞者でもあります。西ベンガル州ヴィスヴァ・バラティ大学(タゴール国際大学)でマニプリ舞踊の博士号を取得。現在、マニプル大学講師。



また博士はマニプル州政府の毎年恒例の文化イベントCherry Blossom Mao Festivalのフェスティバル・ディレクターであり、過去に在インド日本大使館から大使も協力者として参加しました。前回のサンガイ・フェスティバルにも出演。2023年にインド開催されたG20とインド独立75州記念Azadi Ka Amrit Mahotsavの北東州における文化プログラムの企画を担当しました。



福田麻紀(南インド古典舞踊バラタナティヤム)

アマリッタ・ダンス・カンパニー主宰。NPO法人国際友好促進会副理事長。1986年櫻井暁美氏よりバラタナティヤム学び、1987年からは渡印を繰り返しながら南インド古典舞踊の巨匠C.V.チャンドラシェーカー氏のもとで、伝統を重んじる古典舞踊の技法と精神性を学ぶ。日本をはじめ、インド、韓国、カナダなどでの公演を行いながら、自身が主宰を勤めるアマリッタ・ダンス・カンパニーの他、カルチャーセンターでのインド舞踊教室などで後進の育成にも力を注いでいます。又、朝日カルチャーセンターオンライン講座や各種イベント、ボランティア活動などを通じて、インド舞踊の普及に努めています。

出演:アマリッタ・ダンス・カンパニー 福田麻紀、池田綾子、幸田朋子、谷口直弘

入場無料

申し込み方法→

とっとり電子申請サービス
サイト内より「インド」で検索

https://apply.e-tumo.jp/pref-tottori-u/offer/offerList_detail?tempSeq=11309

お問い合わせ:鳥取県 交流推進課

電話 0857-26-7240

メール kouryusuishin@pref.tottori.lg.jp



鳥取県立生涯学習センター (県民ふれあい会館) ホール

〒680-0846 鳥取県鳥取市扇町21

「JR鳥取駅」南口より徒歩3分

駐車場:会館駐車場をご利用ください。ただし、63台しか駐車スペースがございません。大変申し訳ございませんが、満車の場合は近辺の有料駐車場をご利用ください。

